

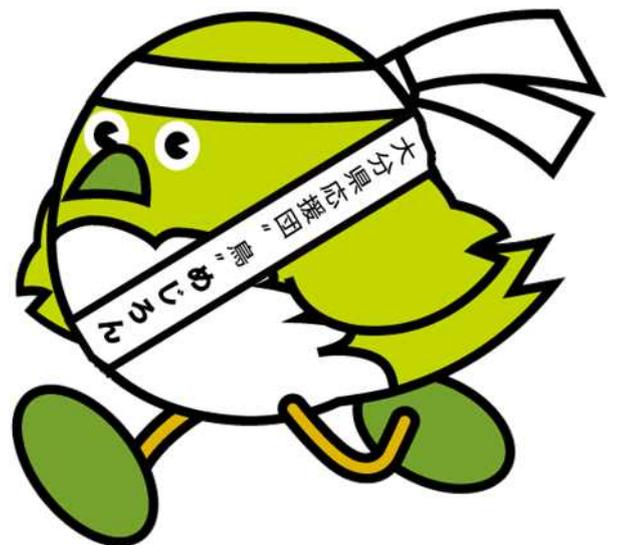
大分県

OITA Prefecture

2022

目次

- 1 大分県のすがた
- 2 大分県の経済・産業
- 3 大分県庁の組織と業務
- 4 政策の仕組み
- 5 安心・活力・発展プラン2015
- 6 大分県行財政改革推進計画
- 7 令和4年度大分県予算
- 8 令和4年度 of 主な取組
- 9 大分県管内図、県のシンボル



日本一の

おんせん県おおいた  味力も満載

みりよく

(1) 大分県の位置

大分県は「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置し、北側は周防灘に、東側は伊予灘、豊後水道に面しています。



(2) 大分県の市町村

大分県は18市町村(14市3町1村)から構成されています(平成の大合併前は58市町村(11市36町11村)でした。)

総人口は約111万人(R4.2.1現在)であり、人口が最も多い市町村は県庁所在地である大分市です。

総面積は約6,341km²であり、面積が最も広い市町村は佐伯市です(九州一)。

区 分	面積 R3.1 (km ²)	世帯数 R4.2.1 (世帯)	人口 R4.2.1 (人)		
			総 数	男	女
大分県	6,340.70 * A	488,474	1,110,553	527,641	582,912
大分市	502.39	211,038	474,872	228,153	246,719
別府市	125.34 * a	53,539	113,333	51,423	61,910
中津市	491.44 * b	37,598	82,138	40,036	42,102
日田市	666.03	25,101	61,440	29,158	32,282
佐伯市	903.14	28,535	65,302	30,217	35,085
臼杵市	291.20	14,495	35,152	16,548	18,604
津久見市	79.48	6,822	15,508	7,254	8,254
竹田市	477.53 * c	8,587	19,702	9,216	10,486
豊後高田市	206.24	9,514	21,900	10,476	11,424
杵築市	280.08	11,790	27,130	13,074	14,056
宇佐市	439.05	21,798	51,699	24,419	27,280
豊後大野市	603.14	13,628	32,879	15,383	17,496
由布市	319.32 * a	13,165	32,427	15,444	16,983
国東市	318.10	11,786	25,524	12,179	13,345
姫島村	6.99	834	1,661	772	889
日出町	73.26	11,146	27,558	13,150	14,408
九重町	271.37 * c	3,318	8,285	3,950	4,335
玖珠町	286.60	5,780	14,043	6,789	7,254

* A 大分県及び福岡県、熊本県は境界の一部が未定のため、参考値である。

* a 別府市及び由布市は、境界の一部が未定のため、参考値である。

* b 中津市及び福岡県田川郡添田町は、境界の一部が未定のため、中津市は参考値である。

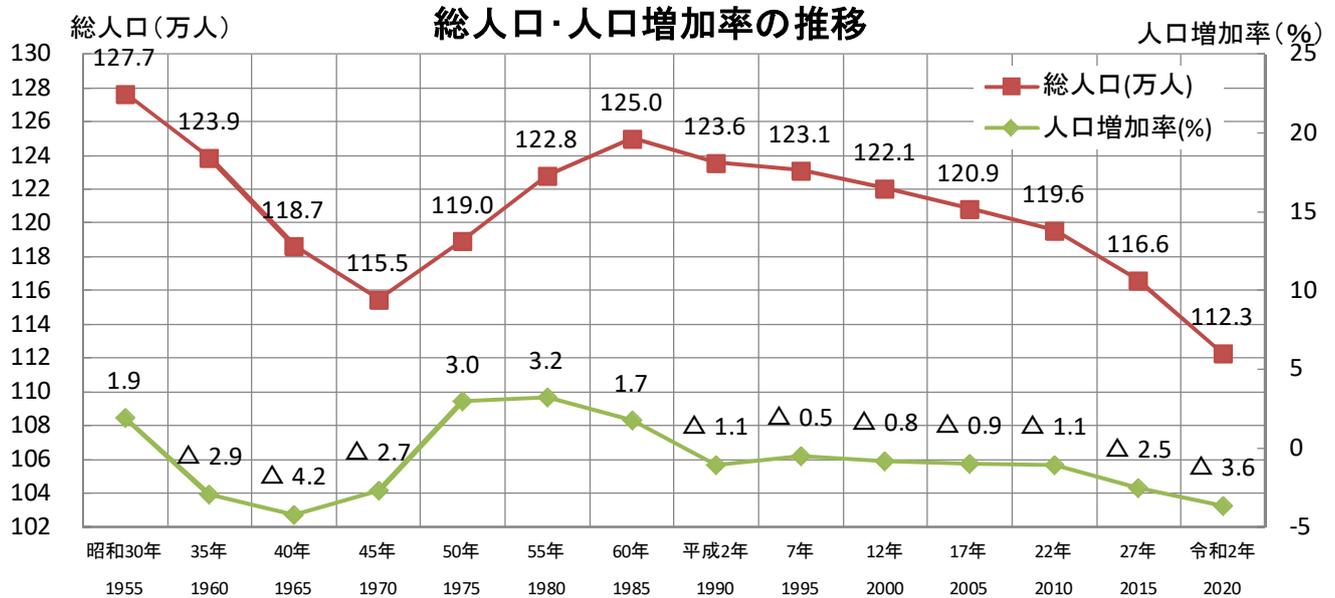
* c 竹田市、玖珠郡九重町及び熊本県阿蘇郡小国町は、境界の一部が未定のため、竹田市及び九重町は参考値である。

資料：国土地理院、県統計調査課

(3) 人口の推移

大分県の人口は、昭和30年の127万7千人をピークに減少を続け、昭和45年には115万5千人にまで落ち込みましたが、その後は増勢に転じ、昭和60年には125万人となりました。

しかしながら、昭和60年を境として、東京一極集中や過疎化の進行等により減少傾向が続いており、令和2年には112万3千人となり、昭和40年に次ぐ大きな減少率となりました。



資料：総務省「国勢調査」

(4) 人口の将来推計

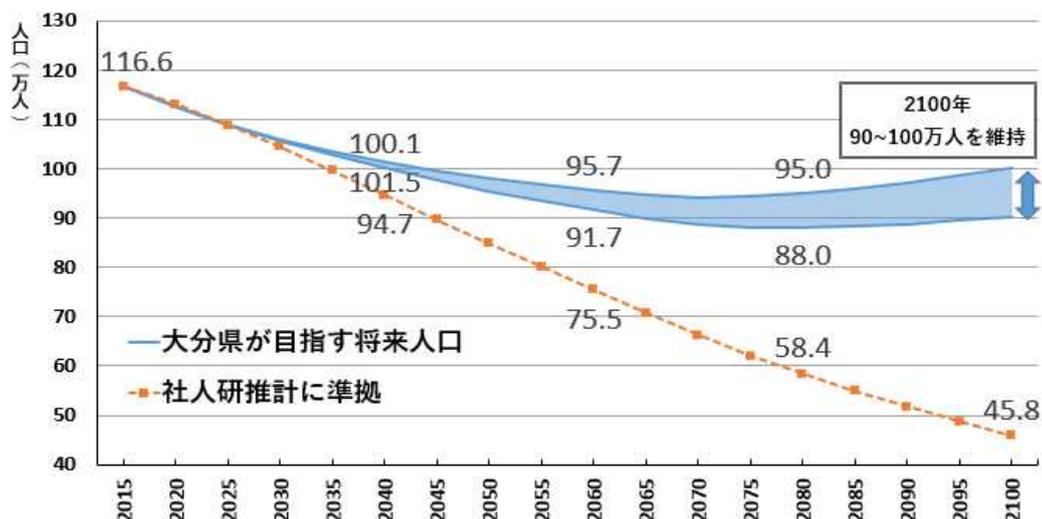
大分県の人口は、このまま何もしなければ、2100年には45.8万人と、人口減少がさらに進行するものと推計しています。

一方で、県民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現など自然増を図り、併せて若者の流入・定着など社会増を促進することで、2100年でも90万～100万人程度の人口を維持できると考えています。

この人口維持の実現に向けて、地方創生の取り組みを進めることにより、特に、重要な要素である「合計特殊出生率」「出生数」「人口の社会増減」について、以下の指標を達成することが重要です。

合計特殊出生率	出生数	人口の社会増減
2025年(R7年) 1.83	2025年(R7年) 9,000人程度	2025年(R7年) 均衡

総人口の将来推計



資料：大分県人口ビジョン(令和2年3月改訂)

(5) 大分県の特徴

大分県は、温暖な気候に恵まれ、海や山などの豊かな自然、その中で育まれた新鮮で安全な食材、宇佐神宮や六郷満山、国宝臼杵石仏をはじめとした磨崖仏などの貴重な歴史的文化遺産など多くの地域資源があります。

また、なんとといっても県内全域に広がる温泉は、日本一の湧出量と源泉数を誇り、地球上にある10種類の泉質のうち8種類を有しています。

さらには、「The・おおいた」ブランドとして、関あじ・関さば、おおいた和牛などの高級食材をはじめ、かぼすやしいたけなど四季折々の素晴らしい食材も満載です。



日本一の温泉湧出量、源泉数を誇り、バラエティに富んだ温泉が満喫できる別府をはじめ、別府湾沿いに開けたエリア。海を望む水族館やテーマパークなどのレジャーも充実。



かつて宇佐神宮を中心とした八幡文化で栄えた宇佐地域と、「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が開花した国東半島を中心とするエリア。磨崖仏や石橋など石造物も豊富。



江戸幕府の直轄地「天領」として栄え、今も当時の町並みと町人文化が残る日田、城下町の風情が息づく中津など、歴史の薫り漂うエリア。深耶馬溪一帯は奇岩奇峰と瀬流が織りなす景勝地。



1700m級の山峰が連なるくじゅう連山をはじめ、祖母・傾山系、由布岳など、雄大な山々に囲まれたエリア。四季折々に色合いを変える大自然の山歩きや高原散策、山間のいで湯を楽しめる癒やしのスポット。



清流・大野川の中・上流域に開けたエリアで、豊かな自然が清らかな水を育む名水のふるさと。「九州の小京都」竹田は、岡城趾など、当時の隆盛がしのばれる城下町。



日豊海岸国定公園に指定された美しいリアス式海岸が続く、大分県南エリア。旧藩時代のたたずまいが残る臼杵や佐伯など、海辺の城下町は情緒たっぷり。関あじ・関さばをはじめ、豊後水道で揚がる海の幸が絶品。

(6) 大分県の日本一

天然自然が豊かな大分県には様々な日本一があります。特に、七島イの生産は全国で100%のシェアを誇っています。



温泉源泉総数
5,088孔 (R1年度末)
温泉湧出量
295kl/分 (R1年度末)



地熱発電電力量
960千Mwh (R1年度)



指定有形文化財
(建造物)
996件 (R3.5.1)



道路トンネル数
557本 (R2.3.31)



かぼす生産量
5,800t (R1年)



乾しいたけ生産量
916t (R2年)



七島イ生産量
7.3t (R1年)



サフラン(花芯)生産量
15kg (R1年)



マダケ竹材生産量
31千束 (R2年)



ホオズキ出荷量
1,089千本 (R1年)



石灰石生産量
25,895千t (R2年度)



ひらめ養殖収穫量
536t (R2)

(7) 大分県の歴史

大分県は、古くは豊の国と呼ばれ、7世紀の終わり頃、豊前・豊後の二国に分けられました。

8世紀には宇佐八幡宮が全国4万社の八幡の総本宮として栄え、また、国東半島には「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が花開きました。

13世紀の初め(鎌倉時代)、豊後には大友氏が守護として入国し、以後約400年間統治が続きました。特に、大友宗麟の時代には、豊前を含め北部九州6か国を支配するまでとなりました。大友宗麟は、キリシタン大名としてキリスト教や西洋文化を積極的に取り入れました。府内(現在の大分市)、臼杵には中国船やポルトガル船が入り、「南蛮貿易」が盛んに行われ、国際都市として繁栄しました。

16世紀末、豊臣秀吉によって大友氏が除国されると、領国は極端に細分化されました。その後約300年間、小藩分立の時代が続き、県内各所に城下町文化が花開いたことにより、自主自立の気風を育み、個性豊かな人材を生み出しています。

明治になると、大幅な府県改廃が進められ、豊後国は大分県に、豊前国は小倉県になりました。

その後、県の統廃合が行われ、下毛・宇佐両郡が大分県に編入され、今日の大分県域となりました。

3世紀	宇佐邪馬台国説
720ごろ	「豊後国風土記」成る
731	宇佐八幡宮、官弊社となる 六郷満山文化、国東半島を中心に展開
1551	フランシスコ・ザビエル来訪
1871	廃藩置県により大分県誕生
1876	下毛、宇佐郡を大分県に編入し、現大分県域が確定
1962	県庁舎が現在の場所に建設される
2006	平成の大合併により18市町村となる

(8)大分県の偉人

(近世…安土桃山、江戸時代)

**大友 宗麟**

(戦国武将:1530~1587)

キリスト教を保護・推奨、西洋文化をいち早く取り入れ、ポルトガルと親交を結んだキリシタン大名

**黒田 官兵衛**

(戦国武将:1546~1604)

豊臣秀吉の側近として活躍し、天下統一を支えた天才軍師

**前野 良沢**

(中津藩医:1723~1803)

解剖書「ターヘル・アナトミア」を杉田玄白らと翻訳し、「解体新書」として出版

**田能村 竹田**

(南画家:1777~1835)

詩・書・画一体の独自の風雅の世界を確立し、代表作のいくつかは国の重要文化財に指定

**広瀬 淡窓**

(儒学者、教育者:1782~1856)

近世最大の私塾 咸宜園を創設し、門下三千有余の中から多方面に人材を輩出

ペトロ・カスイ・岐部

(司祭:1587~1639)

エルサレムを経てローマに赴き司祭となるも、帰国後に殉教

麻田 剛立

(天文学者:1734~1799)

ガリレオやニュートンに並び、月のクレーターの名前となった

大蔵 永常

(農学者:1768~1860)

九州各地をはじめ、大阪から東北にまで農業技術を学ぶ

(近代…明治以降)

**福沢 諭吉**

(啓蒙思想家:1835~1901)

慶應義塾の創設者であり、「学問のすゝめ」「西洋事情」などを執筆。一万円札の肖像としても有名

**滝 廉太郎**

(作曲家:1879~1903)

明治の中期、音楽界に彗星のように現れ、「荒城の月」「花」など不朽の名曲を残した。23歳で死去

**野上 弥生子**

(小説家:1885~1985)

夏目漱石の指導を受けて小説を書き始め、「海神丸」「秀吉と利休」など多数の作品を発表

**双葉山 定次**

(大相撲力士:1912~1968)

前人未踏の69連勝を誇る第35代横綱。愛称は「不世出の横綱」「相撲の神様」「昭和の角聖」

矢野 龍溪

(政治家:1850~1931)

福沢諭吉の門下生で、政治小説「経国美談」の著者

久留島 武彦

(童話家:1874~1960)

童謡「夕やけ小やけ」を作詞した「日本のアンデルセン」

堀 悌吉

(軍人:1883~1959)

平和と軍縮を希求した知性派海軍中将

朝倉 文夫

(彫刻家:1883~1964)

「墓守」など数多くの傑作を生み、「自然主義的写実主義」という作風を確立

福田 平八郎

(日本画家:1892~1974)

鮮やかな色彩と大胆な画面構成による独自の装飾的表現を確立

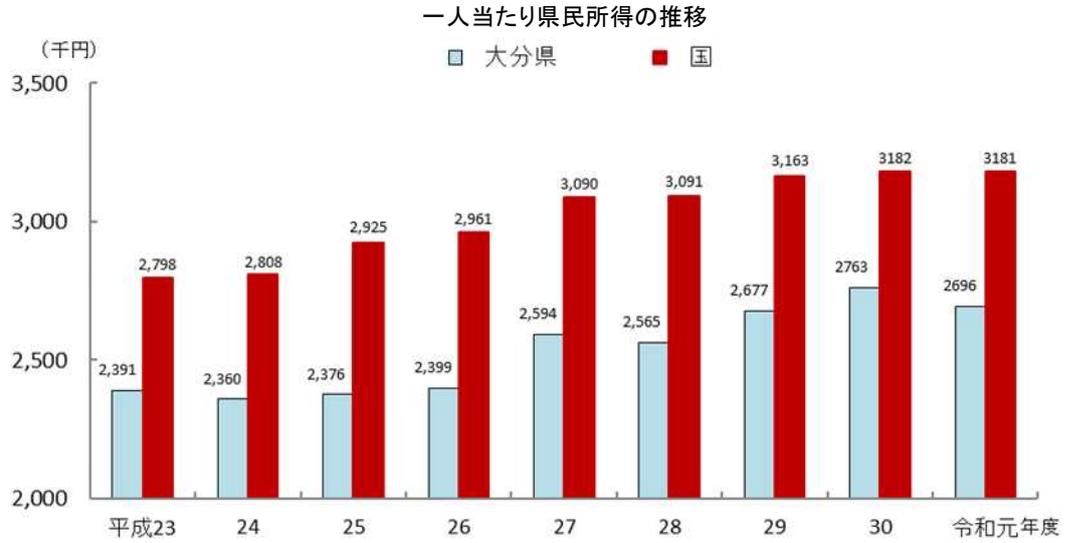
高山 辰雄

(日本画家:1912~2007)

日本画と洋画の壁を取り除く独自の創作を展開

(1) 県民経済

令和元年度の一人当たり県民所得は2,696千円となっています。



資料: 県統計調査課

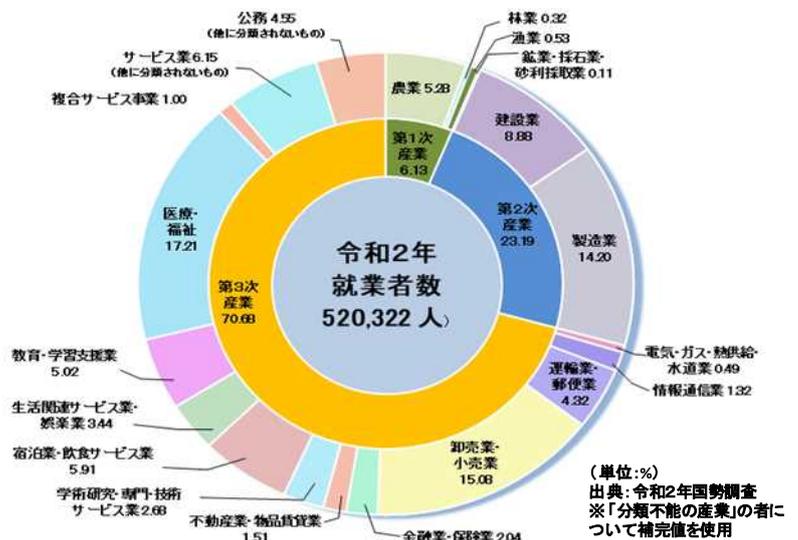
(2) 産業構造



資料: 県統計調査課

令和元年度の県内総生産(名目)は約4兆5千億円となっており、近年は横ばい傾向となっている。

また、生産額及び就業者数は、いずれも第3次産業が最も多く、次いで第2次産業、第1次産業の順番となっています。



(単位:%)
出典: 令和2年国勢調査
※「分類不能の産業」の者について補完値を使用

(3) 産業の状況

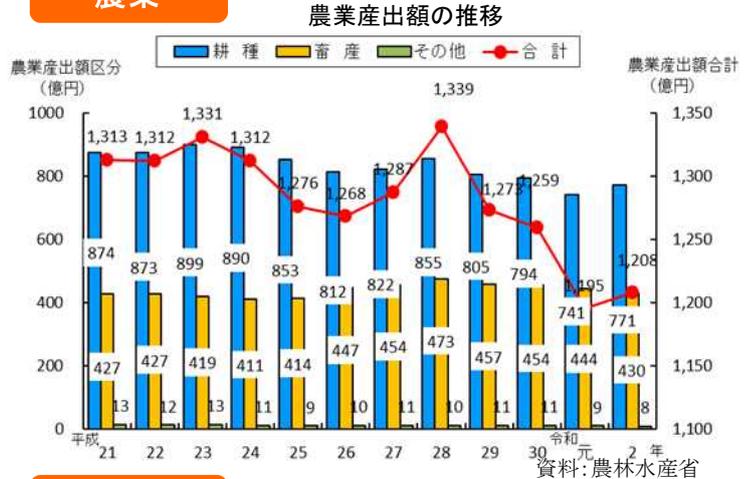
① 農林水産業

農業では、米のほか野菜(白ねぎ、トマト、いちご等)、果樹(なし、かぼす等)、花き(キク、スイートピー等)の園芸作物や肉用牛を中心とする畜産など、県内各地域の立地条件を活かして多様な展開がなされています。

林業では、日田市、佐伯市を中心とした、スギの木材生産や、豊後大野市や竹田市を中心とした乾しいたけ生産が盛んです。

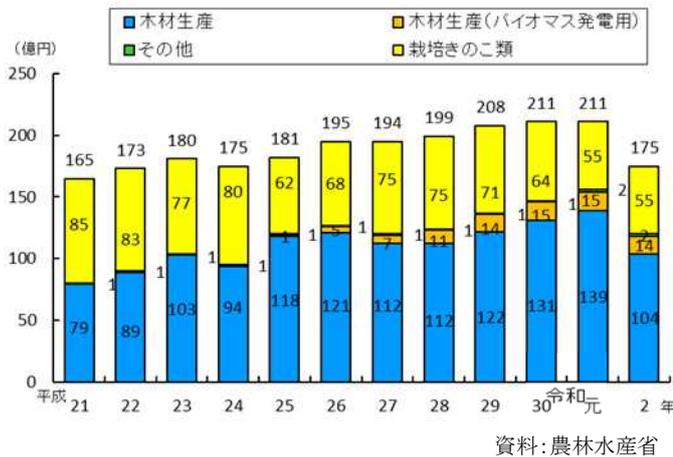
水産業では、主に単価の高い中高級魚の養殖をはじめとした漁業が営まれています。

農業



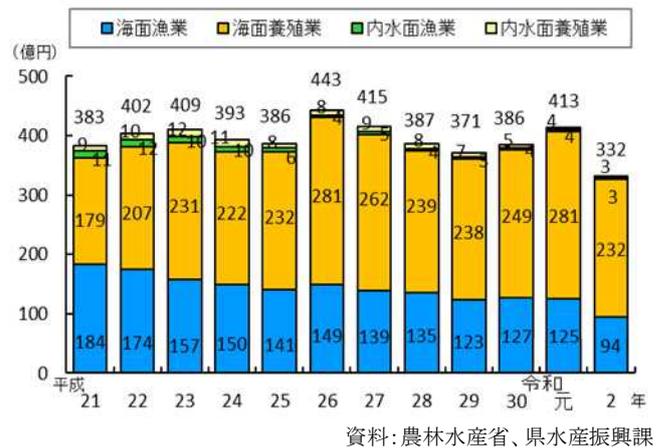
林業

林業産出額の推移



水産業

水産業産出額の推移



② 商工業

大分県には、鉄鋼、石油、化学、半導体、機械、自動車、医療機器など幅広い産業がバランスよく立地しており、製造品出荷額(令和元年)は約4兆2,989億円となっています(九州第2位)。

商業については、商業事業所数は減少が続いています。年間商品販売額(平成28年)は約2兆6千億円となっています。

製造品出荷額等の推移



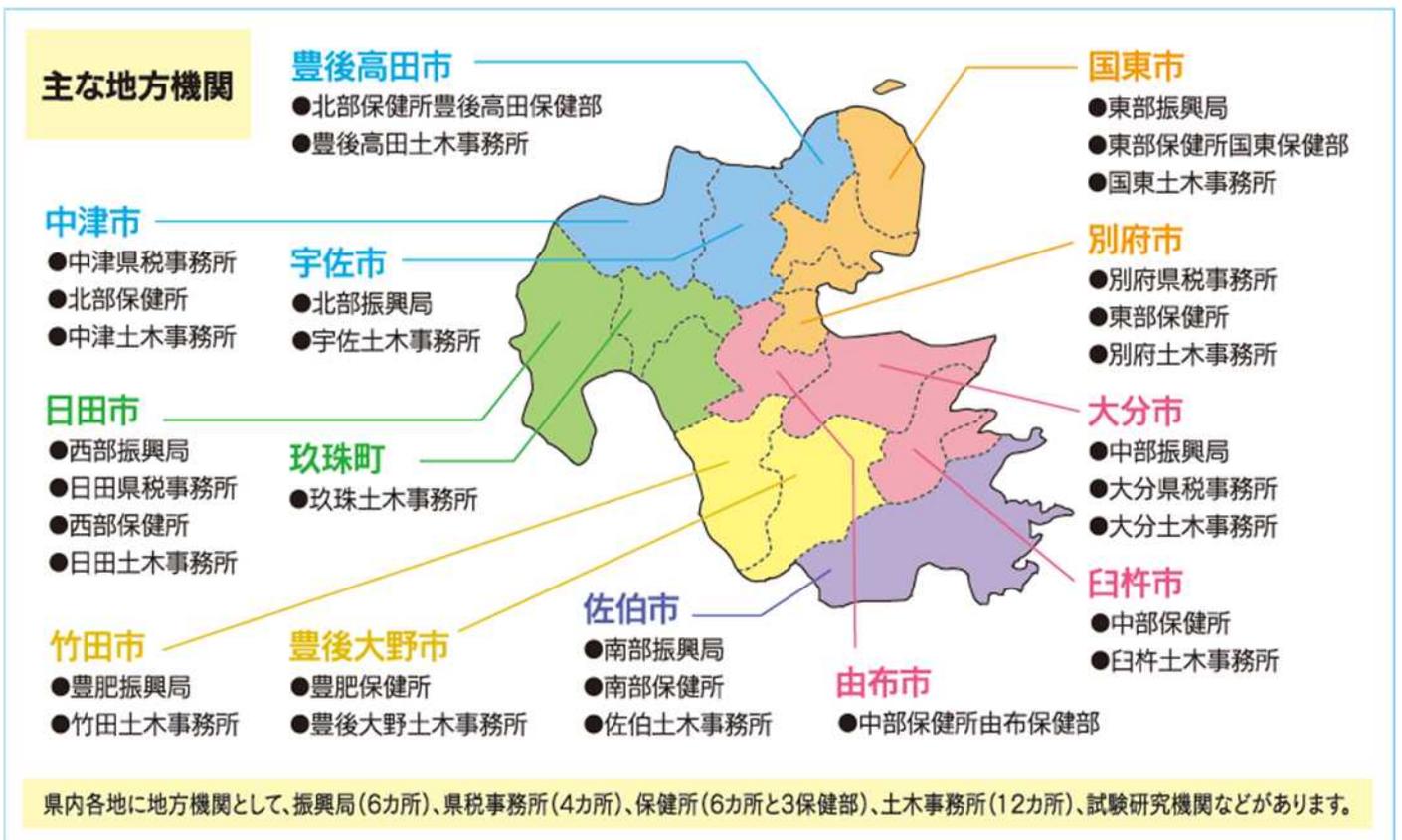
年間商品販売額等の推移



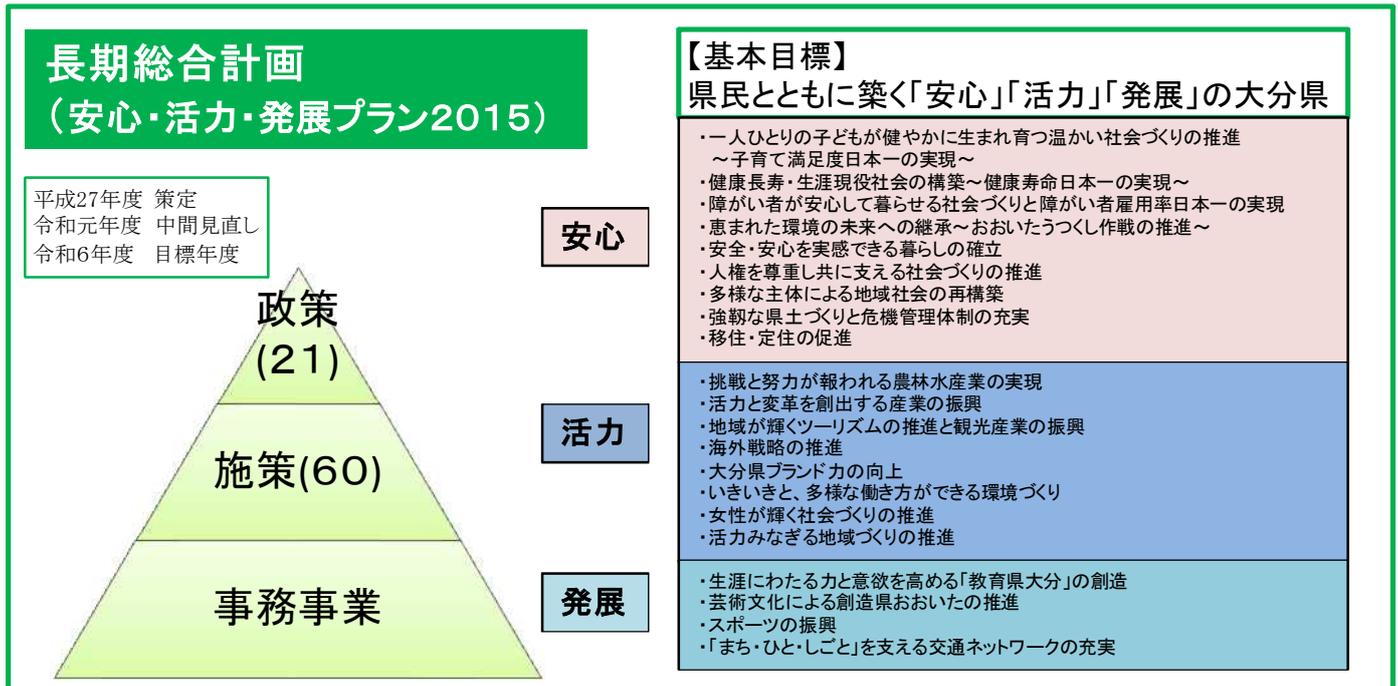
(1) 組織と業務



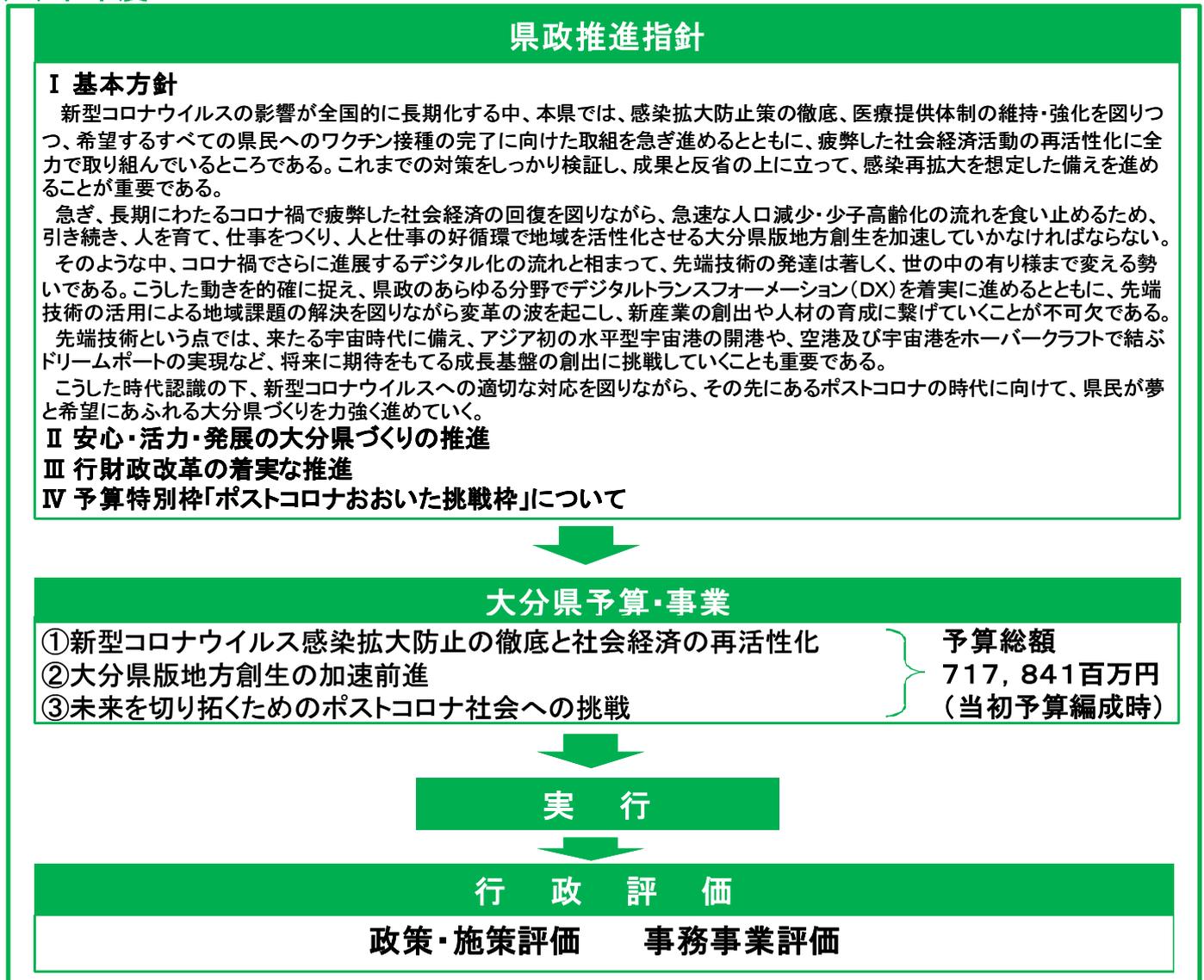
※このほか、行政委員会として選挙管理委員会、海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、収用委員会があります。組織改正等により変更となる場合があります。



(1) 中長期



(2) 単年度



(1)安心

**1 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進
～子育て満足度日本一の実現～**

男性の子育て参画の推進や地域における子育て支援、仕事と子育ての両立支援など、社会全体で子育てを応援するための環境づくりや、出会いから結婚・妊娠・出産・育児への切れ目ない支援とともに、児童虐待の未然防止・早期対応、子どもの貧困対策、ひとり親家庭・障がいのある子どもと家族へのきめ細かな取り組みなどにより、一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりを推進します。

- ・子育て満足度日本一の実現を目指します。



認定こども園の園児たち

**2 健康長寿・生涯現役社会の構築
～健康寿命日本一の実現～**

県民参加型の健康づくり運動の展開や効果的・効率的な保健事業（データヘルス）の推進による生活習慣の改善など、健康を支える社会環境の整備に取り組むほか、高齢者の生きがいづくりや自立支援型ケアマネジメント、認知症施策の推進、さらには地域で安心して質の高い医療サービスを受けられる体制の充実・強化などにより、健康長寿・生涯現役社会の構築を進めます。

- ・健康寿命日本一の実現を目指します。

事業所ぐるみで取組む
「健康経営事業所」**3 障がい者が安心して暮らせる社会づくりと
障がい者雇用率日本一の実現**

障がいと障がい者に対する県民理解の促進やグループホームなどの住まいの場の確保、芸術文化・スポーツを通じた社会参加の推進など、障がい者が身近な地域で安心して自立した生活を継続して送るための取り組みとともに、障がいの特性に応じた仕事とのマッチングや就業面と生活面の一体的な支援による職場定着の推進、工賃向上のための共同受注体制の強化など、障がい者が安心して暮らし働ける社会づくりを推進します。

- ・障がい者雇用率日本一の実現を目指します。



選果場で働く障がい者

4 恵まれた環境の未来への継承

～おおいたうつくし作戦の推進～

生物多様性や自然環境の保全と適正利用につながる取り組みや、3Rの推進、循環産業牽引企業の育成など、循環型社会づくりとともに、地球温暖化対策や環境教育などを推進し、地域活性化型の環境保全活動として「おおいたうつくし作戦」を進め、美しく快適な大分県を実現します。

- ・ 県民一斉おおいたうつくし大行動参加者数年間40万4千人を目指します。



祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク
自然体験

5 安全・安心を実感できる暮らしの確立

県民をはじめ企業などとの協働による犯罪に強い地域社会の確立や人に優しい安全で安心な交通社会の実現に取り組むほか、消費者の安心の確保、人と動物が共生する社会の実現、食の安全・安心の確保、健全な食生活と地域の食を育む食育の推進などにより、県民が安全に安心して暮らせる社会を実現します。

- ・ 刑法犯認知件数年間2,850件以下を目指します。



自主防犯パトロール隊との協働による
児童の見守り活動

6 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進

人権尊重社会の実現を図るため、様々な差別の解消に向けた人権教育や啓発、人権問題に関する相談・支援・権利擁護などの施策を総合的に推進するとともに、女性に対する暴力の予防や性犯罪被害者支援体制の充実、男女共同参画実現に向けた取り組みなど、人権を尊重する環境づくりを進めます。

- ・ 人権問題専門研修受講者数累計2,000人を目指します。



人権啓発フェスティバル

7 多様な主体による地域社会の再構築

多世代交流や住民相互の支え合い活動の推進などによる、だれもがともに支え合い、人と人とのつながりを感じながら安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現に取り組むとともに、小規模集落対策の推進や集落同士が機能を補い合うネットワーク・コミュニティの構築などを進めるほか、地域課題の解決に取り組むNPO・ボランティアの育成・活動支援（中間支援）や協働に向けた支え合いの仕組みづくり、県民理解・参加の促進を図ります。

- ・ 高齢者、子育て家庭等、多世代交流・支え合い活動の実施主体数452組織を目指します。



小規模集落応援隊による海岸清掃

8 強靱な県土づくりと危機管理体制の充実

抜本的な治水対策等による県土の強靱化や自主防災組織の活性化、防災教育・訓練の充実、救助・救援体制の確保など、自助・共助・公助の取り組みを進めるとともに、新型コロナウイルス等の感染症や家畜伝染病の発生・まん延の防止を徹底します。

- ・ 近年の豪雨実績を反映させた治水対策着手箇所数22箇所を目指します。



玉来ダム完成予想図

9 移住・定住の促進

UIターンを促進するため、地域の居住環境や魅力の情報発信を強化するとともに、移住の受け皿となる仕事づくりや移住後の定着に向けた移住者へのフォローアップ、大学生等若者の県内定着やUターンの促進に取り組みます。

- ・ 移住促進策による移住者数2,700人を目指します。



東京での移住相談会

(2) 活力

1 挑戦と努力が報われる農林水産業の実現

魅力ある、もうかる農林水産業の確立に向け、経営力のある担い手の確保・育成から生産基盤の整備、マーケットインの商品づくり、国内外の流通対策までを全体として見通した上で、①水田の畑地化による高収益な園芸品目等への生産転換、②全国トップレベルの肉用牛産地づくり、③循環型林業の確立による林業・木材産業の成長産業化、④水産業の資源管理の強化と成長産業化、⑤スマート農林水産業の実現を重点に構造改革をさらに加速させます。

・農林水産業による創出額年間2,650億円を目指します。



水田の畑地化による大規模園芸産地づくり

2 活力と変革を創出する産業の振興

中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた伴走型支援や創業支援の強化、サービス産業の生産性向上支援、先端技術を活用した地域課題の解決や新ビジネスの創出、大分県版第4次産業革命「OITA4.0」を支える人材育成、戦略的な企業立地の推進と地域の強みを生かす産業集積の深化等による産業振興を図ります。

・IoT等のプロジェクト事業化件数年間20件を目指します。



遠隔操作ロボット「アバター」を活用した社会見学

3 地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興

多様化する旅行ニーズに応じた国内誘客と、アジアから欧米・大洋州までウイングを広げた海外誘客を加速させるとともに、観光関連企業の経営力強化を通して、本県観光産業を稼げる産業、変化に強い産業へと転換していきます。

・県内宿泊客数783万人を目指します。



外国人観光客向けガイド付き釣り体験

4 海外戦略の推進

海外の活力や人材を取り込み、ものづくり産業や農林水産物・加工品、海外誘客など、分野別にターゲットとなる国・地域を定めた海外戦略を展開するとともに、海外展開の基盤となるネットワーク強化や、留学生の県内定着に向けた就職・起業支援、外国人労働者の受入環境の整備など、多文化共生社会の構築を図ります。

・海外展開企業数150事業所を目指します。



大分県海外プロモーション

5 大分県ブランド力の向上

「おんせん県おおいた」のイメージを生かしつつ、大分県の食や自然、文化などの様々な魅力について、デジタルマーケティングの活用や県民総参加型広報の展開などにより、効果的に情報を発信することで、大分県のブランド力向上を図ります。

・地域ブランド調査12位を目指します。



海外向け大分県PR動画

6 いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり

誰もがいきいきと活躍できるよう、働きやすい環境の整備を進め、多様な働き方を可能にする「働き方改革」を推進するとともに、若年者の県内就職や多様な人材の活躍促進に向けた支援などを行うことにより、人材の確保・育成を図ります。

・15～69歳就業者数498,400人を目指します。



技術実習を行う学生(大分高等技術専門学校)

7 女性が輝く社会づくりの推進

働く場をはじめ、あらゆる分野での女性の活躍を推進するため、固定的な性別役割分担意識など、女性が感じる生きづらさを解消し、男女がともに責任を分かち合う環境づくりを進めるとともに、安心して子どもを生み育てながら働けるよう、官民が連携して柔軟な働き方の導入や職場環境の整備などを行い、すべての女性が輝き活躍できる社会を目指します。

・女性が輝くおおいた推進会議の女性活躍宣言企業数230社を目指します。



次世代女性リーダー養成セミナー

8 活力みなぎる地域づくりの推進

地域資源や歴史・文化、地理、地質などの地域の特徴を活用した新たな取り組みや、芸術文化の創造性を生かした地域づくりなどを支援するとともに、地域の担い手の確保・育成、空き家の利活用などにより、魅力的な地域づくりを推進します。

・地域活力づくり取り組み件数(累計)1,800件を目指します。



ラグビーワールドカップに合わせた地域の魅力発信
(源流太鼓)

(特徴ある地域づくり)

県内各地域で、地域資源を活用し特徴を生かした産業振興や仕事づくりに取り組みます。



東部地域

(別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町)

- 時代の変化に対応する農林水産業の創出
- 地域資源を生かした観光の推進と地域の活力向上
- ネットワーク・コミュニティの構築と移住・定住の促進
- 進出企業へのフォローアップの強化



生産拡大を目指すキウイフルーツ

中部地域

(大分市、臼杵市、津久見市、由布市)

- 芸術文化の創造性やスポーツの活力を生かした魅力あるまちづくりの実現
- 地域特性を生かした観光振興による交流人口の増加
- 地域の特徴を生かした力強い経営体の育成と地域ブランドの確立
- 特色ある地場産業を担う人材の確保・育成



保戸島の食の祭典
[VICOLO 保戸島つまみ食い路地]

南部地域

(佐伯市)

- 全国トップレベルの養殖業の経営強化
- 循環型林業による高品質乾燥材の安定供給体制の確立
- もうかる農業生産体制の確立
- 地域の自然、文化、食などを生かしたツーリズムの推進
- 九州一広い街・浦・里の安全・安心なまちづくり



赤潮防除効果も期待される一粒カキ
(シングルシードオイスター) の養殖

豊肥地域

(竹田市、豊後大野市)

- 競争に打ち勝つ農業経営体の育成と新たな担い手の確保
- 山間地域の経済を支える林業の担い手の確保・育成
- 豊かな地域資源を生かした新たな誘客促進
- 高原や温泉を活用した産業の振興
- 郷土芸能や特産品など地域の特徴を生かした地域づくりの推進



用作公園で舞う夜神楽「水鏡」

西部地域

(日田市、九重町、玖珠町)

- 地域経済を支える林業・木材産業の振興
- 飼養環境に恵まれた畜産の振興
- 地域の強みを生かした農業の振興
- 地域の資源を生かした交流人口の拡大と滞在型観光の推進
- 集落機能を維持するためのネットワーク・コミュニティづくりの推進



奥日田の自然を活用したアクティビティ

北部地域

(中津市、豊後高田市、宇佐市)

- 地域の特性を最大限に生かした第一次産業の振興と6次産業化の推進
- 集積する自動車関連企業のさらなる競争力強化に向けた支援
- 地域固有の旅体験で人を呼び込む観光の振興
- 地域コミュニティの活性化に向けた取り組みの支援



滞在型観光の拠点となる長崎鼻

(3) 発展

1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育の推進や、世界に通用する「グローバル人材」の育成、いじめ・不登校対策の充実・強化、学校・家庭・地域との協働など、学校教育の充実と生涯を通じた学びを支援するとともに、青少年の健全育成やひきこもり支援、多様な行政課題の解決に向けた大学等との連携を進めます。

- ・全国に誇れる教育水準の達成を目指します。



タブレット型端末を活用した授業

2 芸術文化による創造県おおいたの推進

多彩な芸術文化に親しむ機会の充実、芸術文化の魅力発信強化、芸術文化ゾーンと文化施設、アート系NPO等との連携など、芸術文化の創造性を生かした行政課題への解決に取り組むとともに、文化財の保存・活用に関する総合的な施策の推進など、計画的な文化財・伝統文化の保存・活用・継承を進めます。

- ・県立美術館入場者数年間50万人を目指します。



第33回国民文化祭・おおいた2018、
第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

3 スポーツの振興

ライフステージに応じたスポーツの推進や県立スポーツ施設の整備等による県民スポーツの推進、ジュニア期からの一貫指導体制の確立や競技力を支える人材の養成等による世界に羽ばたく選手の育成のほか、国際スポーツ大会の誘致やラグビーワールドカップ2019のレガシー継承など、スポーツによる地域の元気づくりを進めます。

- ・国際大会出場者数年間60人を目指します。



県内企業への就職支援により
世界を目指す本県アスリート

4 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実

本県が九州の東の玄関口として、人や物の流れを増やしていくため、フェリー航路、航空路線などの広域公共交通ネットワークの充実や、港湾・空港などの拠点施設の機能強化を図るとともに、広域道路交通網整備や東九州新幹線整備計画路線格上げの取り組み、産業や生活を支える道づくり、快適な都市空間の形成など、まち・ひと・しごとを支える基盤を整備します。

- ・フェリー・航空輸送人員年間390万人を目指します。



庄の原佐野線（下郡工区）の完成予想図

県は、平成16年に「行財政改革プラン」、21年に「中期行財政運営ビジョン」、24年に「行財政高度化指針」、27年に「行財政改革アクションプラン」を策定し、不断に聖域なき行財政改革に取り組み、一定の成果を上げてきたと考えています。

しかしながら、今後2040年頃にかけて、急速な人口減少・少子高齢化に伴って、官民双方の担い手不足や医療・介護需要の増加、税・社会保険料の増加といった課題が生じるおそれがあります。また、社会資本や公共施設も、2040年にかけて老朽化が進み、更新費用の増加や料金収入の減少等の課題が生じるおそれがあります。

こうした課題を克服し、持続可能な行財政基盤を確立するため、令和2年3月に「大分県行財政改革推進計画」を策定し、先端技術を積極的に活用した次世代の社会の姿を見据えた新たな行政運営の仕組みづくりを進めています。

計画期間 令和2年度～6年度までの5年間(改訂後のプラン2015と連動)

行財政改革推進計画の体系

県民
「夢と希望あふれる大分県」の実現



「安心・活力・発展プラン2015」
「第2期まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」に掲げる政策の実現

次世代型「スマート県庁」の実現

(革新的な先端技術を積極的に活用した次世代の社会の姿を見据えた新たな行政運営の仕組みづくり)

行政運営

- ◆ 行政手続の電子化・業務の効率化
- ◆ 市町村における行政手続の電子化・業務の効率化
- ◆ 市町村の連携による効率化
- ◆ 多様な主体との協働
- ◆ 内部統制

社会保障

- ◆ 疾病予防と重症化予防等による医療費適正化
- ◆ 介護予防と自立支援
- ◆ 高齢者の活躍・社会参加

社会資本・公共施設

- ◆ 長寿命化・予防保全の推進
- ◆ ICT等を活用した建設現場の生産性の向上
- ◆ 市町村のインフラ維持管理業務の支援
- ◆ 県有建築物の利活用促進

財政資源と職員人材の活用

- ◆ 健全財政の堅持と次世代の社会を見据えた戦略的な投資
- ◆ 職員人材の確保・育成
- ◆ 働き方改革の推進

県庁

～ポストコロナを見据え、大分県版の地方創生を加速前進させる積極予算～

今年度は、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症防止対策はもちろんのこと、目まぐるしく変化する時代の流れをしっかりと読み取り、ポストコロナを見据えながら次の3点を柱とした9年連続プラスの積極予算としました。

第一は、「**新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底と社会経済の再活性化**」です。コロナ対応は、これまでの経験を活かし、ワクチン追加接種の体制整備や入院病床・宿泊療養施設の確保など、一連の対応に万全を期します。

併せて、社会経済の再活性化に向けて、コロナ禍で苦しむ生活困窮者への支援や中小企業・小規模事業者の事業継続に向けた支援にも取り組みます。

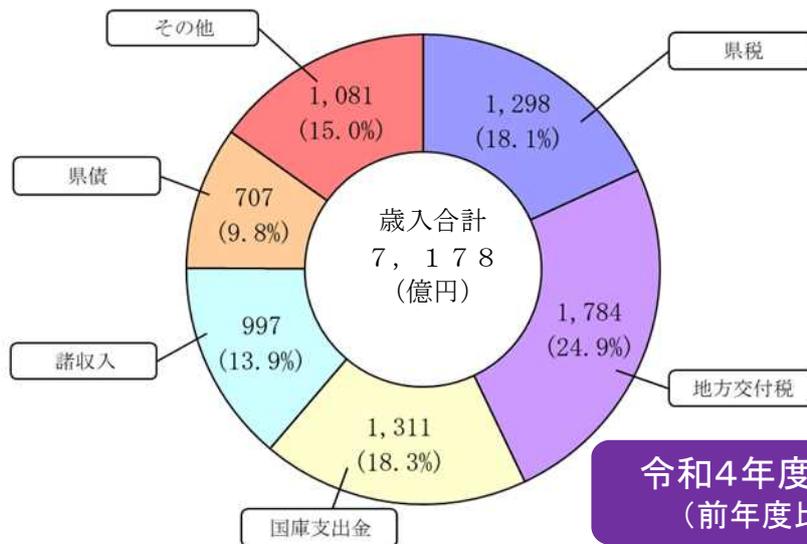
第二は、「**大分県版地方創生の加速前進**」です。人の分野では、引き続き、子育て満足度、健康寿命、障がい者雇用率の3つの日本一の実現に向けた取組を強化します。また、移住についても、スキル取得から移住・就職までのワンストップ支援などをさらに拡充します。

仕事の分野では、県下全域で仕事を生み出す農林水産業の成長産業化を図ります。地域経済を支える商工業では、産業の基盤を拡大する企業誘致について、需要が高まっている大規模工業団地の整備に対する支援等に力を入れます。また、裾野の広い観光業では、コロナ禍で人気が高まる自然体験型の観光コンテンツをさらに充実させ、復活を図ります。

地域の分野では、発展の基盤を創り上げるため、県土の強靱化を着実に進めます。また、本県が誇る魅力的で多彩な文化を活かした日中韓交流の「東アジア文化都市2022」を開催し、芸術・文化の振興にも取り組みます。

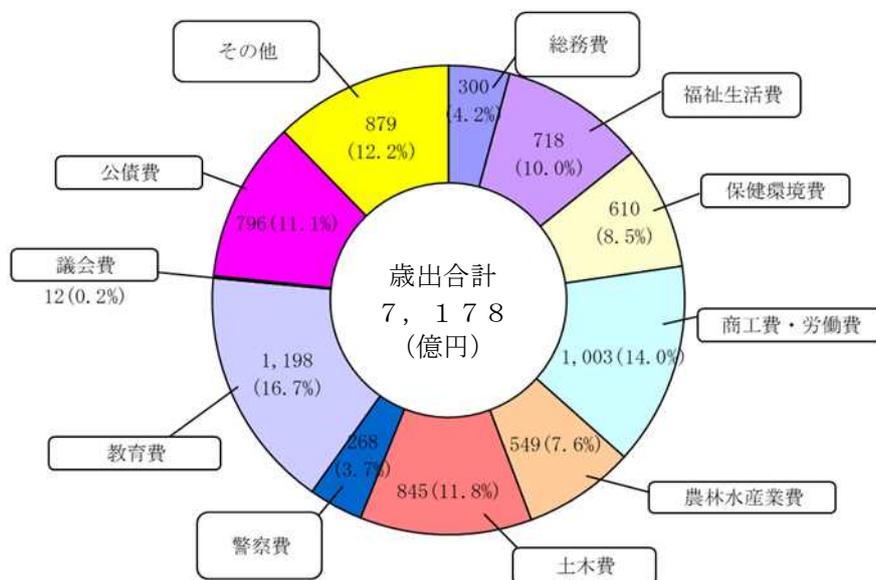
第三は、「**未来を切り拓くためのポストコロナ社会への挑戦**」です。DX、デジタル改革の波が押し寄せる中、発展著しいドローンやアバターなど先端技術の活用により地域課題の解決を図りながら、新産業の創出やデジタル人材の育成に繋げてまいります。さらに楽しみなのは、世界的に成長する宇宙産業です。大分空港をアジア発の宇宙港とするプロジェクトは、大分県民の宇宙への夢や期待を大きく膨らませています。宇宙港を核とした経済循環を目指し、宇宙ビジネスを幅広く創出していきます。

こうした新型コロナへの「守り」とポストコロナ社会に向けた「攻め」の両面から、夢を追い、希望あふれる大分県づくりに力強く取り組みます。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



県税	県民税、自動車税、事業税などの税金
地方交付税	国から交付される使途を決められていない財源
国庫支出金	国から交付される使途の決められた財源
諸収入	貸付事業の償還金、宝くじ収入など
県債	道路や公共施設等を作るための借金
その他	特別会計や基金からの繰入金など

令和4年度一般会計予算 7,178億円
(前年度比 2.2%増)



総務費	政策や計画を立案したり、地域活性化のための事業等の経費
福祉生活費	子育て支援や高齢者、障がい者福祉のための経費
保健環境費	健康増進や食の安全・安心、環境保全のための経費
商工費・労働費	企業の活動を促進したり、求職者の支援等をする経費
農林水産業費	農業、林業、水産業の振興を図るための経費
土木費	道路や橋、河川、下水道等を建設したり、修繕したりするための経費
警察費	犯罪や交通事故を防ぎ、県民の安全・安心を守るための経費
教育費	学校を建設したり、文化やスポーツを振興するための経費
議会費	県議会を運営する経費
公債費	県債を償還する経費
その他	災害復旧費など

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止・社会経済再活性化対策

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続き、PCR検査等を実施するほか、県民からの受診相談やワクチン接種副反応などの専門相談に対応するコールセンターを設置します。



PCR検査の実施

・希望者への3回目のワクチン接種を推進するため、市町村等と連携し、個別接種会場における接種回数の増など、接種体制の強化に取り組みます。



県営接種センターの開設

・感染症患者の入院治療を速やかに開始するため、あらかじめ受入れ医療機関等の病床や宿泊療養施設を確保するとともに、医療従事者の負担軽減に向けた取組を支援します。

・感染症発生時等の感染対応力を強化するため、医療機関や施設職員などに対する研修を実施するとともに、感染管理認定看護師の資格取得を支援します。



ワクチン接種啓発CMの作成

・感染症の影響を受けた中小企業の資金繰りや再活性化等を支援するため、県制度資金において1,000億円の新規融資枠を確保します。

・小規模事業者の経営力強化を図るため、商工会・商工会議所が行う経営改善普及事業等に要する経費に対し助成します。



スクールサポートスタッフによる消毒作業

・新たなビジネスや雇用を創出し、地域経済の活性化を図るため、創業の裾野拡大と成長志向の高い起業家の発掘・育成等に取り組みます。

・ポストコロナにおける国内観光客の復活に向け、デジタルマーケティングの活用や本県ならではのコンテンツを生かした誘客対策等を実施します。



観光関連産業の復活

(2) 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県**【子育て満足度日本一の実現】**

- ・若者の結婚の希望を後押しするため、「出会いサポートセンター」を運営し、市町村、民間団体、企業等と連携した出会いの場づくりを行うとともに、AIを活用したマッチングシステムを導入します。
- ・不妊治療の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療のうち保険適用治療と併せて行った先進医療に要する経費について、市町村と連携して自己負担が概ね3割となるよう助成します。
- ・発達が気になる子ども等に対し、就学前後の移行期に切れ目ない支援を行うため、市町村と連携し、福祉、教育などの関係機関による連携支援体制の構築に取り組みます。
- ・ヤングケアラーなど支援を必要とする子どもや児童虐待のおそれのある家庭を早期に見出し、適切な支援に繋げるため、見守り・相談体制の構築のほか周知・啓発等に取り組みます。



出会いサポートセンターの運営

【健康寿命日本一の実現】

- ・地域の実情に応じたオンライン診療を推進するため、オンライン診療対応医療機関を見える化するするとともに、在宅医療現場での実装、へき地における実証に取り組みます。
- ・地域医療を担う医師の育成と地域や診療科偏在の解消を図るため、医学生と臨床研修医療機関とのマッチングを実施するほか、地域中核病院や特定診療科で専門研修などを行う医師等を支援します。
- ・介護従事者の負担を軽減し離職防止を図るため、ICT化やノーリフティングケア等により働きやすい職場環境の整備を行う事業所を支援します。

AI技術を駆使した
介護記録の音声入力**【障がい者が安心して暮らせる社会づくりと障がい者雇用率日本一の実現】**

- ・障がい者雇用を促進するため、アドバイザーによる企業訪問や仕事の切り出し、人材の掘り起こし、職場への定着支援などを行うほか、就労系事業所等から一般就労への移行を支援します。
- ・医療的ケア児等が地域で適切な支援を受けられる環境を整えるため、ワンストップで相談ができる体制を整備するほか、災害時などに備えた設備整備を支援します。



八丁原地熱発電所の見学

【おおいたうつくし作戦の推進】

- ・2050年カーボンニュートラルの実現のため、若者に対する温暖化対策の普及啓発を強化するとともに、県有施設において脱炭素に向けた取組を実施します。

【安全・安心を実感できる暮らしの確立】

- ・交通事故総量を抑止するため、高校生が作成する交通安全動画コンテストの実施、新設される運転技能検査や免許自主返納に関する高齢者への周知など、世代に応じた効果的な交通安全意識の向上対策や交通安全教育を実施します。

【多様な主体による地域社会の再構築】

- ・空き家の適切な管理と利活用を促進するため、空き家相談窓口の設置・充実や、所有者と物件購入等希望者のマッチングをサポートする体制の整備など、所有者や利活用者に応じた総合的な対策を実施します。



建設が進む玉来ダム

【強靱な県土づくりと危機管理体制の充実】

- ・地域防災力の向上を図るため、地域における防災活動の要となる防災士のスキルアップを行うとともに、地域の防災士と連携した避難訓練や要配慮者向けマイ・タイムラインの普及等に取り組みます。
- ・河川水位上昇時の住民の的確・確実な避難行動を支援するため、県管理河川に監視カメラ等を設置する市町村に対し助成します。
- ・県内企業の防災力向上を図るため、被災経験企業や大学等で構成するコンソーシアムを形成し、災害危険度の把握が可能なプラットフォーム「EdiSON」の試行活用や検証を行います。

【移住・定住の促進】

- ・IT分野への就職・転職による移住を支援するほか、人材が不足している保育士、介護職、看護職への県外からの就職による移住を促進するため、情報発信や就職支援等を行うアドバイザーを設置するとともに、資格取得に向けた支援を行います。



ふるさと回帰フェア(東京)での移住相談

(3)いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県

【挑戦と努力が報われる農林水産業の実現】

- ・本県の顔となる園芸品目を育成し、生産拡大を図るため、短期集中県域支援品目の「生産拡大計画」や、市町の「園芸産地づくり計画」に基づき認定農業者が行う栽培施設の整備等を支援します。
- ・短期集中県域支援品目の生産拡大を図るため、農業団体等が行う産地課題の解消につながる取組に対し集中的かつ総合的に支援します。
- ・肉用牛の生産基盤を強化するため、経営体が行う規模拡大に向けた畜舎の整備や飼養環境の改善に対応する設備整備等を支援します。
- ・産地の生産力を高めるため、農業者が主体的に取り組む研修の場を設けるとともに、モデルとなる経営体等が行う地域を牽引する取組に対し助成します。
- ・県産材の需要拡大と製材加工の低コスト化を図るため、木材の加工流通施設の整備等を支援するとともに、大径材の利用促進の取組を実施します。
- ・ブリ類養殖業の周年出荷体制を強化するため、突発的なモジャコ不漁に対応できる体制を構築するとともに、人工種苗を用いた養殖試験を実施します。



100億円プロジェクトが進む白ねぎ



端境期出荷に向けて
生産されたブリ人工種苗

【活力と変革を創出する産業の振興】

- ・民間事業者等のDXを推進するため、DXに取り組む事業者と支援する企業を繋ぐパートナーシップの形成やモデル事例の創出に向けた伴走支援に取り組みます。
- ・民間事業者等のDXの取組を下支えするため、ビッグデータの利活用に向けた連携基盤の整備や人材の育成に取り組むほか、DX施策の加速化に向け、専門的知見と柔軟な思考を持つ外部の副業人材をアドバイザーとして活用します。
- ・大分空港における水平型宇宙港の実現を図るため、法令・技術関係の調査や関係機関との調整を進めるとともに、スペースポートを核とした経済循環の創出に取り組みます。
- ・市場の成長が期待されるドローン産業の振興を図るため、地域課題を解決するドローンの社会実装や研究開発等の取組を支援します。
- ・企業立地の促進を図るため、県土地開発公社や市町村等と連携し、工業団地の整備を促進します。



宇宙港実現に向けた取組

【地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興】

- ・観光客の受入体制を強化するため、観光統計調査等の分析を行うとともに、アウトドアガイド認証制度の創設や着地型旅行商品の造成に取り組みます。
- ・ポストコロナにおけるインバウンド復活に向け、東アジア文化都市2022と連携した誘客対策や県内留学生を活用した情報発信等に取り組みます。



アウトドアガイド認証制度の創設

【女性が輝く社会づくりの推進】

- ・女性が活躍でき、男女が共に働きやすい社会を実現するため、経済団体と連携し、働く女性などのニーズに対応した支援を行うほか、企業、女性、家庭の意識改革を促すセミナー等を実施します。



女性起業家創出を目指した
ビジネスプラン発表会
(おおいたスタートアップウーマンアワード)

(4)人を育み基盤を整え発展する大分県

【生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造】

- ・ICTを効果的に活用した授業改善を図るため、ICT教育サポーターを育成・派遣するプラットフォームを運営するほか、教職員などが優良授業事例等を閲覧できるポータルサイトを開設します。
- ・本県産業の持続的な発展を担う技術人材を確保・育成するため、工業系高校において県内就職に向けた取組を強化するとともに、先端機器を活用した授業を実践します。
- ・いじめや不登校を未然に防止するため、相談体制を充実するとともに、先端技術を活用し早期発見に向けた取組を強化します。



タブレット端末を活用した授業

【芸術文化による創造県おおいたの推進】

- ・中国温州市・済南市・韓国慶州市と連携し、文化を通じた交流による東アジアの新たな未来を切り拓くため、多様な芸術文化イベントを実施・発信するほか、芸術文化団体による都市間交流等を行う東アジア文化都市2022を開催します。



大分県高校生ものづくりコンテストを通じた技術・技能水準の向上

【スポーツの振興】

- ・サイクルスポーツの普及拡大とサイクルツーリズムを通じた地域活性化を図るため、令和5年に日田市で開催予定のツール・ド・九州2023における大分ステージの準備を進めるとともに、機運醸成に向けたイベント等を実施します。



東アジア文化都市
2022大分県

Culture City of East Asia 2022. OITA

東アジア文化都市2022の開催

【「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実】

- ・大分空港へのアクセス時間を短縮し、観光やビジネスなどにおける利便性を高め、地方創生を加速させるため、ホーバークラフトを購入するほか、発着地におけるターミナルや駐車場、防音施設等を整備します。
- ・ホーバークラフト就航に向け、大分空港を起点とした県内各地への最適な移動手段の検索や予約、決済等を一括で行えるよう、交通事業者等と連携しMaaSを活用した実証に取り組みます。



耶馬溪サイクルロード



ホーバークラフトの就航

9. 大分県管内図、県のシンボル



<県木 豊後梅>



【昭和41年8月16日制定】

豊後梅は、古くから豊後の名産として知られていました。花は大輪で淡紅色をおびています。

<県鳥 メジロ>



【昭和41年2月1日制定】

メジロは全国的に生息している鳥ですが、大分県のメジロは、色彩が美しく、よく鳴くことから、古くから豊後メジロとして全国的に有名で、県民に愛されています。

<大分県応援団"鳥"めじろん>



【平成16年12月24日誕生】

第63回国民体育大会のマスコットキャラクターとして生まれ、現在も大分県の応援団"鳥"として世界で活躍しています。

身長:乾しいたけ 20.08個分
体重:カボス 200.8個分



大分県



大分県企画振興部政策企画課
TEL:097-506-2031
FAX:097-506-1722
〒870-8501
大分県大分市大手町3-1-1

令和4年7月作成